

第六次 深川市総合計画「まちづくりに関する提案・意見」一覧

No.	分野 種別	提案・意見			提案者
		概要	期待される効果		
1	全て	深川市の人口増を図る テーマ	①生涯、深川市に住む意味(魅力)を明確にアピール することが肝要である。 ②新規移住者への中古住宅の登録・斡旋事業は的を 得ているが、それだけでは住んでみようとする人は多く ない。 ③生涯、生活するための働く場、家庭像を描ける収入 源が重要。(企業誘致・就農) ④質の高い介護により「老後は深川でゆっくり」という イメージはどうか。介護士への高待遇により、優秀な 人材が集まり、介護士の移住にもつながり、双方に定 住の決断を促す。 ⑤移住希望者に対し、具体的な明日からの生活を はっきりイメージできるような働く場の情報提供が肝 要。 ⑥市民一人ひとりが「深川市のセールスマン」に成り得 るような市民のスキルアップの取り組みが大切。	・移住者の増加による人口増	団体
2	②	商店街での取り組み	商店街(プラザ深川)でレンタルショーケース「ミニ展」 を開催する。	・人の出入りが増え、人の流れができる。 ・展示者の生きがいづくり	
3	④	スケートボードパーク建 設	子どもとともに保護者も興味があるスポーツと思われ る「スケートボードパーク」を建設する。	・子どもの才能の開花 ・合宿の利用 ・個人・少人数で練習できる(少子化)	
4	①	地域お買い物デー	郊外に住む高齢者等の買い物を支援する。月に1回、 市が用意したバスを利用し、数人で行動し、市内商店 街で買い物をする。	・不便な地域に住む方にも刺激のある住 みやすいまちにする。 ・商店街の活性化	市民
5	②	お絵かきアート	子どもたちに絵を描いてもらい、商店街や個人宅の窓 に掲示する。	・まちなかが賑やかになる。 ・子どもたちに喜びが得られる。褒められ て自信になる。	
6	④	高校に近代農業専門科 を	米どころ深川で、これからの農業の大切さ、仕事の魅 力などを学べる農業科を設立する。	昔とは違うカッコいい農業、機械化され遠 隔操作やドローンなどを使った米づくりを 学べる。	
7	②	深川産米をピーアール	拓大生や合宿している団体に市が買い取った米をブレ ゼントして、深川産米の美味しさを知ってもらう。	深川産米の美味しさが広がっていく。	
8	③	きめ細やかな公共交通	①デマンド型乗合タクシーを他の農村部へ拡大する。 ②中心市街地における乗合型交通の実施を検討す る。	・市民ニーズへの対応 ・交通事故の防止 ・行政コストの削減 ・地域の活性化	市民



関係課	提案・意見に対する市の考え方	現在策定検討中の計画素案との関係
地域振興課 農政課 高齢者支援課	移住を検討されている方は、子育て世代やシニア世代など、幅広い世代にわたっており、移住先に対するニーズも多種多様にわたっている。そうした方々に移住の決断を促すためには、提案内容にもあるように移住後の生活をイメージできるような情報を提供していくことが重要と考えており、市では、これまでも住みよい街となるよう各分野において各種施策の推進に努めるとともに、移住に関するワンストップ窓口を設け、これらの市政情報の提供のほか、無料職業紹介や空き家紹介事業などにも取り組んでいる。今後も、移住者が必要としている情報発信の充実に努めていく考えであり、提案内容にある様々な視点にも意を用いて、市民のスキルアップにも資するような情報の提供に努めていく。	3. 快適な生活基盤の構築に関する分野 (5) 移住・定住 ⇒ 移住・定住に関するワンストップ相談、無料職業紹介、空き家紹介等について登載済み。
商工労政課	提案内容については、賑わいと魅力ある商店街づくりの取り組みの参考とし、今後も商店街の自主的な活動を支援するとともに、深川市商店街振興組合連合会などの関係団体とも情報共有を図ることとする。	計画本文に記載はないが、具体的な事業施策の検討の中で参考とする。
生涯学習スポーツ課	スケートボードパーク建設は本市においてどれだけのニーズがあるか、また、用地の確保、財源、施設の規模や難易度などの面で研究が必要であるため、情報収集に努めていく。	計画本文に記載はないが、具体的な事業施策の検討の中で参考とする。
高齢者支援課	高齢者を対象とした、ひきこもりの防止ならびに通いの場として「介護予防ふれあいサロン」を市内21カ所にて実施しており、その活動の中で、高齢者等の希望者を募り「お買い物乗り合いツアー」を企画し実施しているほか、地域主体により「買い物ツアー」が実施されている。市としては、こうした活動が多くの地域で広がるよう、引き続きそれぞれの活動に対する支援を行っている。	計画本文に記載はないが、具体的な事業施策の検討の中で参考とする。
商工労政課 学務課	提案内容については、教育、子育て、商店街振興における参考とし、小中学校等や、深川市商店街振興組合連合会などの関係団体とも情報共有を図ることとする。	計画本文に記載はないが、具体的な事業施策の検討の中で参考とする。
農政課 学務課	現在、市内には北海道深川東高校に農業科(生産科学科)があるため、提案内容については、高校と情報共有を図ることとする。 また、市としては、新規就農者やその他学生等が農業研修に必要な最新のICTに対応したスマート農業機械を令和2年度に導入しており、農業センターにおいて、これを用いた農業体験学習が可能となっているほか、市内の小中学校においても水稲やじゃがいも、大豆などの農業体験を行っている。	2. 経済・産業に関する分野 (1) 農・林業 ⇒ 担い手の育成やスマート農業の導入促進について登載済み。
農政課	深川産米のPRIについては、消費拡大などにより農業所得の確保にもつながることから、これまでも重点的に推進してきており、秋のイベントでは、炊き立ての新米を振舞いその場で美味しさを知ってもらい、また、市農業対策協議会と連携し、市内保育園、幼稚園、小中学校へ深川産米を配布するなど、深川産米の消費拡大に取り組んでいる。 今後も、JAきたそらちをはじめ、関係機関・団体と連携を図り、深川産米をはじめ、地元農畜産物のPR・消費拡大を推進する。	2. 経済・産業に関する分野 (1) 農・林業 ⇒ 地元農畜産物の消費拡大について登載済み。
企画財政課	①デマンド型乗合タクシーについては、現在、実施しているデマンド交通「納内経由菊丘線」実証実験の利用状況や、利用ニーズを調査・分析するなどして、既存の路線バスやタクシーと競合とならない範囲で、他の農村部への拡充についても検討を行っている。 ②中心市街地における新たな乗合型交通の運行については、既存の路線バスやタクシーとの競合が課題となるが、AIを活用したオンデマンド交通の運行など、新たなモビリティサービスの研究を引き続き行っている。	3. 快適な生活基盤の構築に関する分野 (1) 交通・道路 ⇒ ①公共交通空白地域における移動手段として、デマンド型乗合タクシーの整備・検討について追記。②新たなモビリティサービスの研究について登載済み。

基本的なまちづくりの分野

- ① 福祉・健康・医療に関する分野
- ② 経済・産業に関する分野
- ③ 快適な生活基盤の構築に関する分野
- ④ 人材育成と教育・文化・スポーツに関する分野